

●話題の新製品探訪…… **Edwards Tenor Bass Trombone T396A**
 [エドワーズ] テナーバストロンボーンT396A “アレッシー・モデル”



管はリバース式になっている。支柱はニッケル。バルブにはROTA

ゲッツェンの最上級機種エドワーズ「アレッシー・モデル」が日本に上陸したのは昨年6月。NYフィルのジョセフ・アレッシーが丸3年をかけて完璧なバランスと各パーツのコンビネーションを追求したエドワーズの結晶とも言えるこの楽器は、生産本数が少なく、多くの読者にとつてまだ未知の楽器に違いない。

このモデルは従来のエドワーズと異なり、「ノーオプシオン」である。すなわちベル、スライド、マウスパイプなどのパーツ交換はきかず、アレッシーが吟味に吟味を重ねて選んだ組み合わせによって一本の楽器に仕上げられている。その仕様を列挙してみよう。

スライドはゴールドブラスで、先端はニッケルではなくイエローブラス。バルブセクションもゴールドブラス。チューニング管はイエローだ。主管とF管のチューニング管はリバース式になっている。支柱はニッケル。バルブにはROTA

エドワーズ新時代の幕開けを告げる？ J・アレッシーが丸3年かけて選んだ組み合わせ！



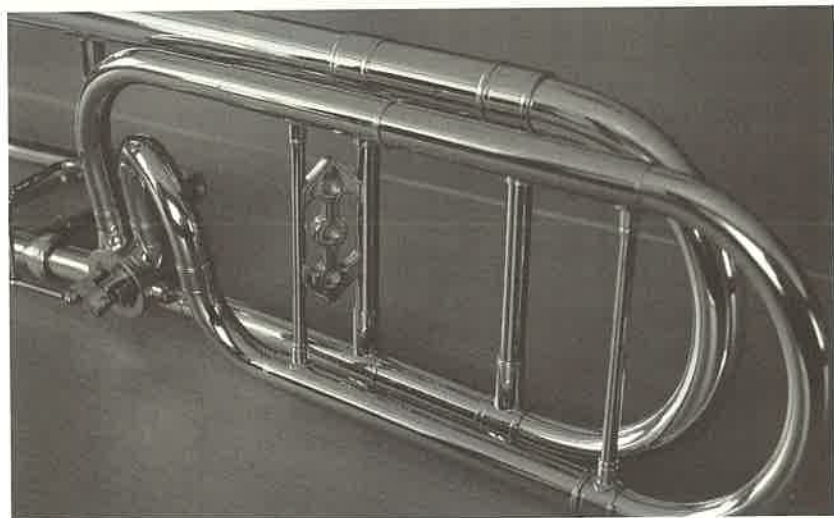
AXを採用……、等々。輸入元、プリマ楽器の昌子武さん(写真上)が解説する。

「ベル、スライド、チューニング管など、形状やボアの大きさなどは今までと一緒ですが、熱処理の仕方をすべて変えてあります。例えばスライド先端は非常に薄く、熱処理でとても柔らかくしてあったり、スライドの上下も熱処理で硬さを変えてあるなど。ベルもゲッツェンのスタンダードの厚さで形も同じですが、熱処理の仕方で今までにはないものになっています。このアレッシー仕様は本当に完璧で、パーツを変えてみたりいろいろやってみても、すべてマインナスの結果にしかありませんでした」

ROTAバルブはスイスのウイエルソン製。構造はトラディショナルと変わらないものの精度は極めて高く、「気密性を変えられるので、ゲッツェンのアキシシャルフローバ

ルブと同じく、メンテナンランスにも非常に優れたバルブです。

さらに、このモデルの最大の特長とも言えるのが、左の写真に見える「ハーモニック・ブリッジ」だ。バランスと言わないところがミソ。ブリッジにある3つの穴に付属の各種のネジ(ハーモニック・ピラーと呼ぶ)を差し込めば、重心バランスを変えられると同時に、吹奏感



ネジ(ハーモニック・ピラー)はステンレスと銅(銅)各4種類が付属。ネジ山の長さが異なり、差し込める量が異なる。長いネジはネジ山の途中で止めるようにナットが付いている(上の写真)。

このアレッシー・モデルは、T350に代表されるエドワーズほどには大量の息を必要としないという。それだけ楽に小さな音も大きな音も出せる効率の良さが、エドワーズ新時代の幕開けを告げているのかも知れない。昌子さんはその音を「シルクのスカーフのようなキメの細かさ」と形容した。

や音色がびっくりするほど変化する。「その効果には皆さん驚きます。下側の穴に差し込むと中低音がはつきりと出て、上側の穴に差し込むとハイトーンが外れにくいなどの声を載っています。ちなみにアレッシーさんはホールによって変えています」



●ゲッツェン・エドワーズ T396A ……¥651,000(税込) ※ケース、マウスピースは付属しない。
 問い合わせ: (株)プリマ楽器 TEL.03-3866-2215